

亀田医療大学授業評価アンケート

基礎看護学臨地実習平均(1年・2年)
履修者 164 /回答者 157

回収率 96%

選択肢は、以下の5つです。
5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない
2：あまりそう思わない 1：そう思わない

I. この授業に対するあなたの取り組み	選択肢	5	4	3	2	1					
(1)予習・実技練習などの自主学習を行った	人 (%)	85	54.1	50	31.8	15	9.6	6	3.8	1	0.6
(2)実習中の学生態度(遅刻・忘れ物等をせず)は良かった	人 (%)	129	82.2	16	10.2	6	3.8	3	1.9	3	1.9
(3)実習に積極的に参加した(熱心に学んだ)	人 (%)	121	77.1	29	18.5	7	4.5	0	0.0	0	0.0
(4)日々の学習を振り返りながら、それを活かして実習を展開できた	人 (%)	98	62.4	37	23.6	17	10.8	4	2.5	1	0.6
(5)実習の目的目標が達成できた	人 (%)	86	54.8	56	35.7	11	7.0	2	1.3	1	0.6
(6)自身の学習課題が明らかになった	人 (%)	126	80.3	24	15.3	6	3.8	1	0.6	0	0.0
(7)患者への理解を深め、個性性を考えながら実習を展開できた	人 (%)	105	66.9	37	23.6	13	8.3	2	1.3	0	0.0
(8)患者とのコミュニケーションを深めながら実習を展開できた	人 (%)	115	73.2	31	19.7	7	4.5	4	2.5	0	0.0
(9)今までの学習内容を活用しながら実習を展開していた	人 (%)	92	58.6	40	25.5	22	14.0	3	1.9	0	0.0
(10)グループ間(学生同士)で協力し合うことができた	人 (%)	120	76.4	30	19.1	7	4.5	0	0.0	0	0.0

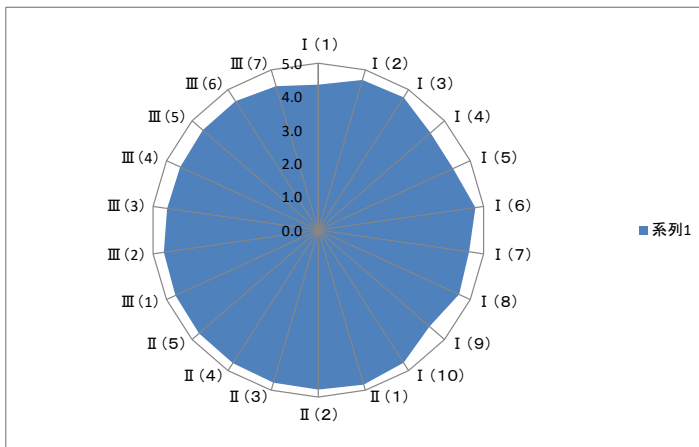
II. 教員の实習に対する取り組み	選択肢	5	4	3	2	1					
(1)教員は学生に誠実に接していた	人 (%)	136	86.6	15	9.6	5	3.2	1	0.6	0	0.0
(2)教員は学生が患者(療養者・家族)とうまく関われるように配慮していた	人 (%)	129	82.2	21	13.4	7	4.5	0	0.0	0	0.0
(3)教員は学生がスタッフとうまく関われるように配慮していた	人 (%)	129	82.2	19	12.1	9	5.7	0	0.0	0	0.0
(4)教員は学生の意見を認めた上でアドバイスや指導を行っていた	人 (%)	130	82.8	14	8.9	11	7.0	2	1.3	0	0.0
(5)教員と学生間のコミュニケーションは良かった	人 (%)	127	80.9	20	12.7	8	5.1	1	0.6	1	0.6

III. 実習の進め方	選択肢	5	4	3	2	1					
(1)実習の目的・目標がわかりやすく明示されていた	人 (%)	117	74.5	34	21.7	6	3.8	0	0.0	0	0.0
(2)学習課題とその必要性が理解しやすかった	人 (%)	116	73.9	31	19.7	10	6.4	0	0.0	0	0.0
(3)オリエンテーションの内容は、実習を円滑に行うために役立った	人 (%)	107	68.2	35	22.3	13	8.3	2	1.3	0	0.0
(4)教員と看護師の連携がよくとれていた	人 (%)	107	68.2	34	21.7	12	7.6	3	1.9	1	0.6
(5)教員と看護師の指導の間に一貫性があった	人 (%)	111	70.7	28	17.8	16	10.2	2	1.3	0	0.0
(6)カンファレンスにより、実践した内容を意味づけすることができた	人 (%)	109	69.4	32	20.4	16	10.2	0	0.0	0	0.0
(7)記録様式は使用しやすかった	人 (%)	100	63.7	35	22.3	19	12.1	2	1.3	0	0.0

V. 項目別平均

I (1)	I (2)	I (3)	I (4)	I (5)	I (6)	I (7)	I (8)	I (9)	I (10)
4.4	4.7	4.7	4.4	4.4	4.8	4.6	4.6	4.4	4.7

II (1)	II (2)	II (3)	II (4)	II (5)	III (1)	III (2)	III (3)	III (4)	III (5)	III (6)	III (7)
4.8	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6	4.5	4.6	4.6	4.5



科目平均 (I (1)～III (7) 平均) 4.6